

令和6年度 事業計画書

目的及び事業

I 保存普及事業

(1) 鉄道遺産等普及事業

明治26年(1893)横川～軽井沢間に官設鉄道が開通して以来育まれてきた鉄道文化遺産は、めがね橋、旧丸山変電所などの重要文化財だけでなくED42形機関車やEF63形機関車、レンガ造のトンネルや橋梁が当該地域には数多く残されている。

特に急勾配の横川～軽井沢間だけを運行していたEF63形電気機関車は、碓氷峠鉄道文化むらに4両動態保存されており、全国から鉄道ファンが運転体験に訪れている。これらの保存活動を続け後世に伝えていくことが重要である。

① EF63形電気機関車運転体験事業

☆ 学科・実技講習 毎月第3土曜日に実施。(年12回、各回定員5名)

☆ 検定合格者に講習修了書交付後、指導機関士により保存運転線区間往復約800mの実車運転体験を実施。

運転体験 営業日 1日10～11名(年間最大3, 218名)

② 展示車両の修繕・塗装等の保存活動

(2) 情報発信事業

① 碓氷峠を紹介する「碓氷線絵地図」の販売

歴史と自然豊かな碓氷峠を広く紹介するための資料で、アプトの道散策にも役立つ。

② 碓氷線の歴史と展示車両を紹介した冊子の販売

「たんけんノート」

碓氷峠鉄道文化むらの案内図と碓氷線の歴史を分かりやすく解説した冊子で、小学生の自由研究ノートとしても活用できる。

「展示車両BOOK」

碓氷峠鉄道文化むらのジオラマ車両や屋外展示車両を子供達にも分かりやすく解説し、メモ欄や記念スタンプを押す欄を設けている。

③ ホームページによる情報提供

四季折々に変化する碓氷峠周辺の情報及び碓氷峠鉄道文化むら・財団の状況等の情報を提供する。

(3) 交流事業

① 第26回碓氷峠紅葉の俳句大会の開催

碓氷峠は古来より、紅葉の美しさでも知られ、唱歌「もみじ」が作詞された場所でもある。その峠の四季の美しさを俳句で表現することにより、峠の自然及び歴史などについて理解を深めてもらう。

俳句大会実施日 11月3日 文化の日

② 碓氷峠に関連する各種事業への協力

関係機関等で実施する碓氷峠に関わる諸事業に協力する。

③ 矢の沢川親水公園管理事業

草刈り・ゴミ拾い等の清掃を実施。

④ 冬期ふれあいイベントの開催

碓氷峠の森公園を会場にイルミネーションを点灯し、地域住民等のふれあいの場を提供する。

開催期間 11月中旬～1月上旬

II 公共施設の管理運営事業

(1) 碓氷峠鉄道文化むら管理運営事業

- ① 「資料館・展示館・屋外展示場及び付帯施設等」の適切な管理運営の実施。
 - ☆ 展示車両及び展示資料などの適切な管理運営の実施。
 - ☆ 施設及び設備等の点検修理、並びに展示車両の塗装及び修理等の実施。
 - ☆ 園内及び駐車場・バス等乗務員休憩室の清掃等の実施。

- ② トロッコ列車「シェルパくん」の運行管理事業
鉄道文化むらからとうげのゆ駅間に園内遊具としてトロッコ列車を運行し、碓氷峠周辺の観光促進を図る。
 - ☆ 12月から3月中旬までの期間は、入園者等の状況により運行。
 - ☆ 3月中旬から11月までの期間は、土曜・日曜・祝日に1日5往復の運行。
(状況により増減あり)
(春休み・ゴールデンウィーク・8月は運行)
(団体については平日でも可能な限り予約運行を行う)

- ③ 2フィート機関車「あふとくん」の運行管理事業
1日13回の運行(午前6回・午後7回)。

- ④ ミニSL・ファミリー列車の運行管理事業
 - ☆ 「ミニSL」午前9時より最大10分間隔で毎日運行。
(12月～2月はELで対応)
 - ☆ 「ファミリー列車」ミニSL運行線を使い土曜・日曜・祝日の12時10分から13時10分の間に運行を行う。
(春休み・ゴールデンウィーク・夏休み期間は毎日運行)

- ⑤ 園内遊具「ポッポさん」の運行事業
 - ☆ 土・日・祝日に運行。(ゴールデンウィーク・8月は毎日運行予定)

- ⑥ EF63シミュレーターの管理運営事業

- ⑦ 屋外展示車両の内部公開
 - ☆ 189系あさま号を始め、普段公開していない展示車両を、イベント等で有料(または無料で募金箱を設置)にて内部公開を行う。